

2017年9月27日

日本イーライリリー株式会社

〒651-0086  
神戸市中央区磯上通 7-1-5  
www.lilly.co.jp

EL17-46

## イーライリリー、欧州皮膚科学・性病学会議(EADV)で発表 治療成果が乾癬患者の期待に達していないことを示す最新のグローバルデータ

- 欧州各国及びカナダにおいて、中等症から重症の乾癬患者 1,457 人から得たデータを分析したところ、患者の 3 分の 2 には明確な治療目標があるにもかかわらず、治療に対する患者の満足度は中程度であることが明らかになりました<sup>i</sup>
- 乾癬の影響は日常生活のあらゆる領域に及んでおり、併発疾患、乾癬症状の部位、罹患している体表面積の割合の高さにより増大します<sup>ii</sup>

イーライリリー・アンド・カンパニー(以下、リリー)は、ジュネーブで開催された(9月13~17日)第26回欧州皮膚科学・性病学会議(EADV)において、欧州の9ヵ国及びカナダにおける中等症から重症の乾癬患者 1,457 人を対象にした調査の最新結果を発表しました。調査結果から、乾癬患者の 3 分の 2(67.2%)が治療目標を設定していたものの、その一方で最善には満たない治療目標で妥協している場合があり、全体的な皮膚の改善、作用速度や作用期間などの主要領域における満足度が中程度にすぎなかったことが示されています<sup>i</sup>。

リリーのシニア・メディカル・ディレクターである Martin Dossenbach 氏は、以下のように述べています。「乾癬患者さんにとって、高いレベルで皮膚クリアランスを得ることは主要な治療目的であるものの、乾癬の治療に関して無視できない不満や大きな負担があり、このことは乾癬患者さんがその苛立ちを主治医と共有していない可能性があることを示しています。患者さんの生活の質を改善するには、医師と患者さんが共に現実を見据えた治療目標を立てることが必要です。」

今回の結果では、患者の日常生活におけるあらゆる側面(社会性、仕事や家庭生活、及びパートナーとの関係や性的親密さ)に対する乾癬の影響が(10を非常に影響が大きいとして、10ポイントスケールで測定)、併発疾患の存在(うつ病、喘息、関節症性乾癬など)、乾癬症状のある部位(胸部、手、脚、生殖器など)、また罹患している体表面積の割合の高さにより有意に増加することが示されています<sup>iii</sup>。特に、乾癬が生殖器に発症した患者では、パートナーとの性的親密さ及び関係に対する疾患の影響はそれぞれ 1.06 ポイント及び 0.75 ポイント有意に増加しました。同様に、乾癬症状が広範囲に及ぶ(罹患している体表面積の割合が 10%を超える)と、日常生活に与える乾癬の影響は 0.81 ポイント有意に増加しました。

さらに、治療目標のうち 42%以上のケースは主に医師の判断によるもので、乾癬患者からの意見を取り入れることは非常に少なく、乾癬患者は今以上に治療内容の決定に関与し、まだ満たされていないニーズをより効率的に特定して、治療満足度を向上させる必要があることが示されました<sup>i</sup>。

### 乾癬について

乾癬は、皮膚に症状が現れる慢性の自己免疫疾患です。これは、免疫システムが皮膚細胞の成長サイクルを加速させるよう間違ったシグナルを送ることによって発症します。乾癬は全世界で約1億2,500万人の人々が罹患しており<sup>iv</sup>、その約20%が中等症から重症の尋常性乾癬です<sup>v</sup>。乾癬は体のどの部分にも発症する可能性が

あり、糖尿病、心疾患やいくつかの種類のがんなど、その他の重篤な疾患と関連します<sup>iv,vi</sup>。乾癬で最もよく見られるのは、尋常性乾癬で、銀白色の鱗屑をともなった境界明瞭な盛り上がった紅斑が現れます<sup>iv</sup>。

### 国際患者調査(International Patient Survey)について

2016年7月6日から12月22日の間に、国際定量的調査の一環として、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、カナダ、デンマーク、オランダ、スウェーデン、スイスにおける中等症から重症の乾癬患者1,457人(平均年齢:41.5歳、男性45.6%)にインタビューを実施しました。データは、中等症から重症の乾癬患者を対象に構造化形式のオンライン調査により収集しました<sup>ii</sup>。

最初の分析では、乾癬の日常生活の様々な側面への影響について、普段の生活(入浴や料理など)、仕事、社会生活、家庭生活、パートナーとの関係、パートナーとの性的親密さに対する10ポイントスケール(1:影響なし、10:非常に影響が大きい)を用いて評価しました。その後、それら側面に対して患者背景、疾患、治療及び社会的パラメーターが及ぼす影響をベースラインの差を補正した多変量回帰分析により測定しました<sup>ii</sup>。有意に影響を及ぼすファクター( $p \leq 0.05$ )は、乾癬の影響を軽減するか、増大するかのいずれかに分類し、データは期待値と平均推定値の差として示しました。その結果、日常生活の決まった側面において乾癬の影響は以下の項目により増大することが明らかになりました。

- 乾癬に罹患した体表面積の割合が高い(体表面積の10%超)
- 特定の併存疾患(関節症性乾癬、うつ病、糖尿病、喘息)の存在
- 特定の病変部位(生殖器、手、脚、爪、胸部、背部)
- 住居国(フランス)

2つ目の分析では、全体的な疾患の改善、特定病変部の改善、投薬頻度、薬剤の使いやすさ、効果の発現速度、効果の持続期間、治療全体に関して、治療満足度を評価しました。各カテゴリーの満足度は、0~10の範囲で値が高いほど満足度が高いことを示すvisual analogue scale(VAS)により測定しました<sup>i</sup>。結果は以下に示すとおりです。

- 乾癬患者の62.7%( $n=913$ )が治療目標を設定し、37.3%( $n=544$ )は治療目標を設定していませんでした。
- 治療目標を設定しなかった患者(37.3%、 $n=544$ )のうち医師から積極的に治療計画を求められた患者はわずか15%でした。
- 治療目標を設定した乾癬患者において、治療開始時に最も多く期待された治療成果は、痒みの軽減(61.6%)、落屑の軽減(55.6%)、皮膚症状の改善(51.7%)でした。
- 医師と乾癬患者からの意見が公平に取り入れられていた目標は32.1%、主に医師が設定した目標は42.1%、また、乾癬患者からの意見が治療目標に取り込まれていない症例は15.7%でした。
- 治療目標を見直す頻度は、毎月(全体の31.7%)から6ヵ月以下ごと(34.1%)と様々でした。

### イーライリリー・アンド・カンパニーについて

イーライリリー社は、世界中の人々の生活をより良いものにするためにケアと創薬を結び付けるヘルスケアにおける世界的なリーダーです。イーライリリー社は、1世紀以上前に、真のニーズを満たす高品質の医薬品を創造することに全力を尽くした1人の男性によって設立され、今日でもすべての業務においてその使命に忠実であり続けています。世界中で、イーライリリー社の従業員は、それを必要とする人々の人生を変えるような医薬品を開発し届けるため、病気についての理解と管理を向上させるため、そして慈善活動とボランティア活動を通じて地域社会に利益を還元するために働いています。

### 日本イーライリリーについて

日本イーライリリー株式会社は、米国イーライリリー・アンド・カンパニーの日本法人です。人々がより長く、より健康で、充実した生活を実現できるよう、革新的な医薬品の開発・製造・輸入・販売を通じ、がん、糖尿病、筋骨格系疾患、中枢神経系疾患、自己免疫疾患、成長障害、疼痛、などの領域で日本の医療に貢献しています。詳細はウェブサイトをご覧ください。<http://www.lilly.co.jp>

- <sup>i</sup> Vender R, Wilhelm S, Dickson R, et al. Impact of Treatment Goals on Patient Satisfaction With Treatment of Moderate-to-Severe Psoriasis: Results From an International Quantitative Survey. Poster P1999 presented at EADV Congress 2017.
- <sup>ii</sup> Van de Kerkhof P, Dossenbach M, Saure D, et al. The Impact of Life Factors on Patients Living With Psoriasis: An International, Quantitative Survey. Poster P1998 presented at EADV Congress 2017.
- <sup>iii</sup> Blome C, Gosau R, Radtke A, et al. Patient-relevant treatment goals in psoriasis. *Arch Dermatol Res.* 2016;308(2):69-78.
- <sup>iv</sup> International Federation of Psoriasis Associations (IFPA). Psoriasis is a serious disease deserving global attention. Available at: <https://ifpa-pso.com/wp-content/uploads/2017/01/Brochure-Psoriasis-is-a-serious-disease-deserving-global-attention.pdf>. Accessed: August 2017.
- <sup>v</sup> Menter A, Gottlieb A, Feldman SR, et al. Guidelines of care for the management of psoriasis and psoriatic arthritis: Section 1. Overview of psoriasis and guidelines of care for the treatment of psoriasis with biologics. *J Am Acad Dermatol.* 2008;58(5):826-850.
- <sup>vi</sup> Chiesa Fuxench ZC, Shin DB, Ogdie Beatty A, et al. The risk of cancer in patients with psoriasis. *JAMA Dermatology.* 2016;152(3):282-290.